



『生活文化フォーラム・富山』から、第1セッション「暖かく快適な衣服を求めて」

とやま
県広報

1988/3 NO.230

エッセイ/ウォルター・ニューポート

富山の印象——表紙2

特集2/とやまの若い力

あしたは僕らが創る!——P.14

トリップ県政

富山県公文書館——P.18

ふるさとみてる記

黒部市——P.20

シリーズ:トヤマギネス・スポット

チューリップ——表紙3

特集1/県政にみんなの声を

第18回富山県県政世論調査

富山の印象

ウォルター・ニューポート
〈勤とやま国際センター職員〉



富山に初めて訪れる列車で、私はちょうど黒部市に住むおばあさんの隣の席に座りました。彼女は、英語を話すことができませんでした。そして私も、その時は全く日本語が話せませんでした。今でも、その列車に乗った時のことが、私の最も強い印象の一つとして心に残っています。

私たちは、互いの言葉が話すことができないのに、今でも印象に残る心と心の良いコミュニケーションを交わすことができたのです。乱暴な若者たちが私たちの車両に入ってきた時、彼女はまるで母親のように私をかばってくれました。また、私に梨をすすめてくれ、私は初めて日本の梨のみずみずしい甘みを味わいました。私は、今でも梨を食べるたびに、とても親切にされた初めての列車のことを思い出します。

私は、富山の人々については、こうした親切さだけではなく、その正直さにも驚いています。私は、時々デパートやオフィス、バスや大学など人がたくさん出入りする場所で傘を忘れるのですが、たとえ三日後であっても、私が不注意に忘れた場所に戻ってみると、その傘を見つけることができます。また富山の人々は、まるで盗まれる心配がないかのように自転車を外に置いたままその場所を離れますね。私の国ではちょっと考えられません。他の外国でも、多分そうでしょう。自転車は、すぐに無くなることなのでしょう。

こうした富山の人々については、私は心から神に感謝するばかりです。また私は、他の国の人たちは、こうした富山の人々から学んでほしいと思います。

親切を受けたもう一つの例は、私がアメリカン・センターの館長さんに会うため名古屋へ行く時のことでした。私は、違った列車に乗ってしまい、イライラしていました。その時、私がいいた車両のほとんど全ての人が、私がお合の時間に間に合うよう適切な列車に乗り換える手助けをしてくれました。

このように、私は多くの親切に恵まれてきていますが、時には、日本人の外国人に対する一種の好奇心のようなものを感じることもあります。また、私の乏しい日本語力によって、ある日富山駅でおこった次のような面白い誤解も生ずるのです。

すばらしく着飾った若い男性が近づいてきて、私に尋ねました。

- 男性 「あなたは、英語の先生ですか？」
- 私 「はい。ところであなたは、何処から来ましたか？」
- 男性 「滑川から来ました」
- 私 「おや、私もアメリカから来ました」

最初は、彼が何を言っているのかわかりませんでした。彼が、「滑川」と「アメリカ」の取り違えについて、三回ほど繰り返して説明してくれた後で、私はついに富山県に「滑川」という名前の市があることを知ったのです。

※ウォルター・ニューポートさん（アメリカ）は、英語の指導と国際交流思想の普及のため、昭和58年、富山に来られました。このエッセイは、英語で書かれたニューポートさんの文章を勤とやま国際センターで日本語に訳したものです。



クローズアップ '88とやま冬物語

暖かかった今年の冬も、雪に親しむイベントは花咲かり。見たり、食べたり、滑ったり……。たくさんの方が冬の富山の魅力に触れました。その一部をご紹介します。



雪のファンタジーコンサート 2月7日

音楽をとおして雪に親しむ第三回「雪のファンタジーコンサート」が、県民会館で開かれました。第一部は、女声合唱団「クワール・クローア」と可西・和田両ハレ工団のシヨイントによる「富山に伝わる三つの民謡」『あわら、こさきりこ、麦屋の三曲をバックに、新しい感覚の舞踊が披露されました。また、第二部は、県舞踊協会による舞踊劇「雪女」ステージいっぱいには繰り広げられる歌と舞りのハイモニーに約一千人の観客が酔いしれました。



生活文化フォーラム・富山 2月5日

「魅力ある雪国を考える」をテーマにした。「生活文化フォーラム・富山」が、県民会館をメイン会場にして開かれ、講演と分科会、シンポジウムなどを通じて雪国の新しいライフスタイルについての提言がなされました。シンポジウムには、加藤秀俊氏（放送大学教授・当シンポジウムの代表）、小松左京氏（作家）、樋口敬二氏（名古屋大学水圏科学研究所長）らが参加。「日本独自の耐雪・耐寒住宅を開発すべき」「雪に関する技術を集めた博覧会を開けばどうか。」などの意見が出されました。

クローズアップ '88とやま冬物語

五箇山地方の雪祭り 2月12日~14日、20日・21日



利賀そば祭り(2月12日・14日)、上平雪祭り(2月13日・14日)、平村こきりこ味まつり(2月20日・21日)と冬の五箇山は、雪と味を楽しむお祭りがいっぱい。利賀そば祭りでは、色とりどりの照明を浴びた雪像の中、約一万七千人の観光客がそば粉百パーセントの手打ちそばを味わいました。

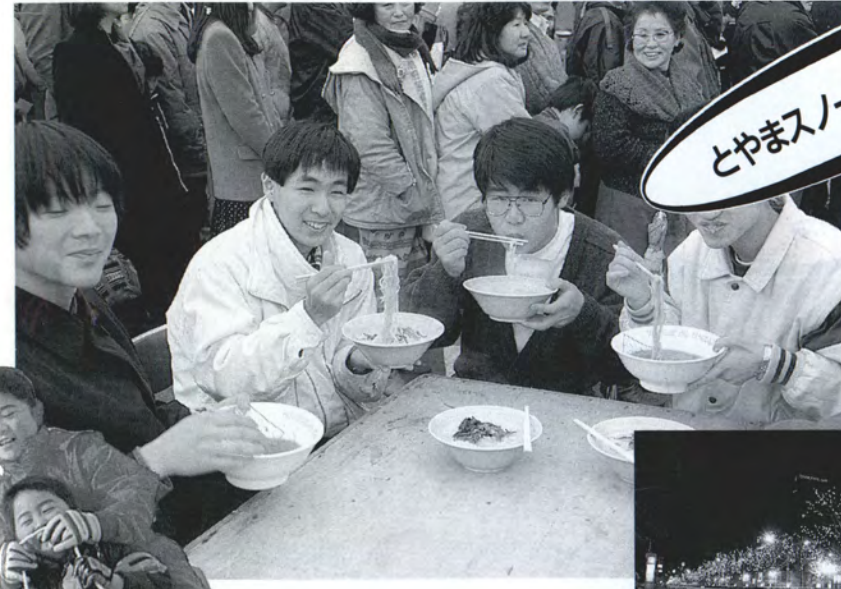
ゴンドラ雪の祭典 2月20日・21日



今年も大賑いのゴンドラスキー場。2月20日・21日には、「ゴンドラ雪の祭典」が開かれました。20日は、自作ソリ競技大会。趣向をこらした百九台のソリがタイムとデザインを競いました。また、21日は雪の女王コンテストが開かれ二十一人の参加者の中から女王には、飛田安通子さん(砺波市)、準女王には、古嶋真由美さん(婦中町)、山内香さん(黒部市)がそれぞれ選ばれました。



とやまスノーピアード'88 1月15日~2月7日



左義長まつりに始まった「とやまスノーピアード'88」。1月30日・31日には「全国ラーメン祭り」が開かれ、北海道から博多まで七店が出店しました。どの店も長蛇の列で、一・二時間待ちという盛況ぶり。この日は、市内のコックさんによる氷像ショーもあり、目を楽しませてくれました。また2月6日・7日は、「ちびっ子雪まつり」が開かれ、子供達は、ソリやゲームを楽しんでいました。期間中、城址大通り中央分離帯には約一万个の電球が飾られ、冬の街を彩っていました。



魚津っ子雪まつり 2月11日



地域ぐるみで冬を楽しむ雪まつりも県内各地で行われました。市立西部中学校グラウンドを会場にした「魚津っ子雪まつり」には、子どもを中心に約三千人の市民が参加、雪像づくりや雪上ゲームに取り組みました。また、会場内では、おかあさんたちの作った温かい豚汁が振る舞われ、子どもたちは満足気に舌鼓を打っていました。

冬季県民レクリエーション大会「雪のシンフォニー」 2月14日

雪の中でアイデアに富んだスポーツ、レクリエーションを楽しむ冬季県民レクリエーション大会「雪のシンフォニー」が県民公園太閤山ランドで開かれました。競技は、雪上運動会やオリエンテーリング、自転車モトクロスなど。青空の広がる冬晴れの中、2,000人の人がさわやかな汗を流しました。

第18回富山県政世論調査下



みんなの声を県政に!

第18回富山県政世論調査の結果を二月号に引き続きご紹介いたします。

この調査は、県民のみなさんの県政に対する要望や関心を的確に把握し、県政推進の基礎資料とするため、毎年実施しているものです。高齢化社会の到来、情報化・国際化の進展、価値感の多様化など、社会情勢が大きく変わりつつあるなかで、今回は、県政全般にわたって、県民の皆さんの意識や意見などについて調査しました。

【調査の概要】

調査の項目

- (1) 都市景観
- (2) 観光と余暇
- (3) 芸術・文化
- (4) 国際交流
- (5) 医療保健
- (6) 高齢者対策
- (7) 警察
- (8) 食料・農業
- (9) 木材の利用
- (10) 消費生活
- (11) 施策の認識
- (12) 広報・公聴
- (13) 県政への要望

調査の設計

- (1) 調査地域 富山県全域
- (2) 調査対象 満二十歳～七十九歳の男女
- (3) 標本数 千二百(回収数千三百二十二)
- (4) 抽出方法 層化副次無作為抽出法
- (5) 調査期間 昭和六十二年八月一日～八月十四日
- (6) 調査方法 調査員による個別面接調査

調査結果のみかた

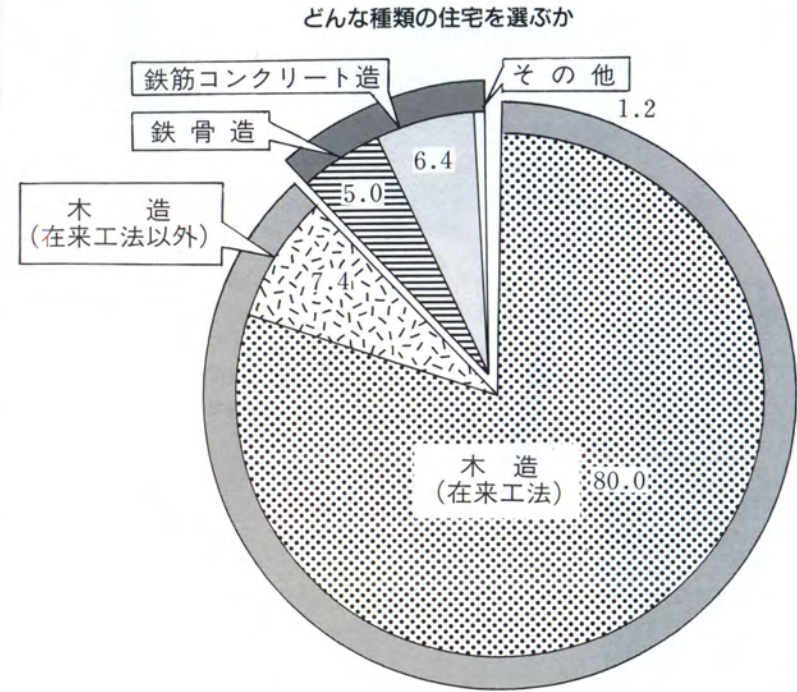
- ・結果は百分比で表示してあります。数表および解説の百分比は小数第二位を四捨五入してあります。
- ・質問末尾に「(MA)」とあるのは、一つの質問に対して二つ以上の回答を認めた場合を示します。
- ・数表中に「N」と記してあるのは、分類別各層の対象者総数を示しています。
- ・数表中に「NA」と記してあるのは、無回答の割合を示しています。

木材の利用

住宅を入手するとした場合、「木造住宅」を選ぶ人は、約九割を占めています。これを年齢別にみると、年代が高くなるにつれて「木造住宅」を選ぶ人の割合が多くなっています。

また、「木造住宅」を選ぶ理由としては「通気・保温性など居住性にすぐれているから」とする人が六割以上を占めています。

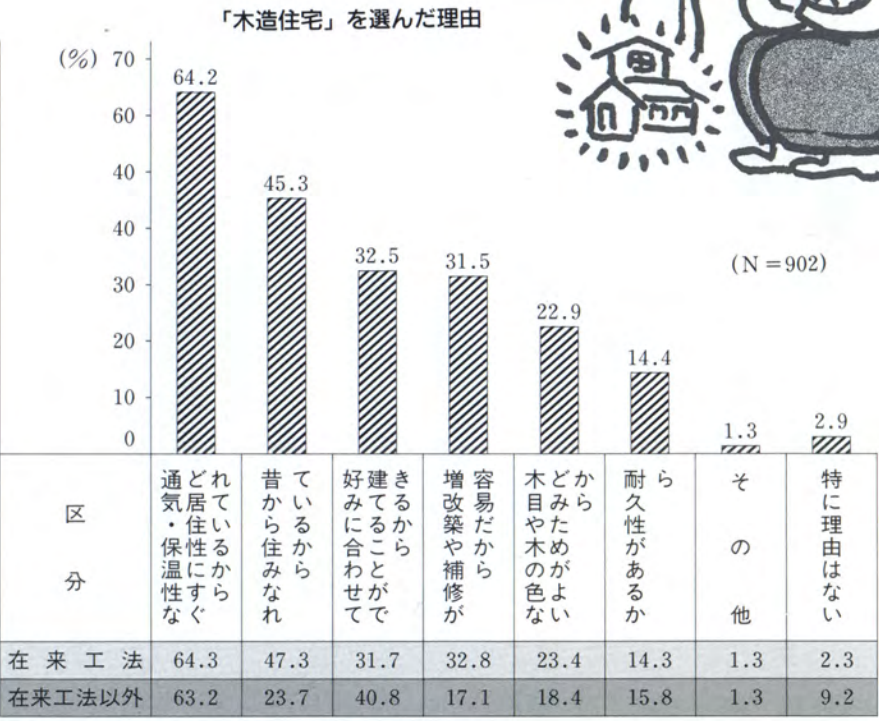
問 あなたがこれから住宅を入手するとしたら、どんな住宅を選びますか。1つあげてください。



(N = 1032)



問 前問で「木造(昔から日本にある在来工法のもの)」、「木造(プレハブ工法など非在来工法のもの)」と答えた方にお聞きします。それはどのような理由からですか。いくつでもあげてください。(MA)



木造住宅の普及にむけて

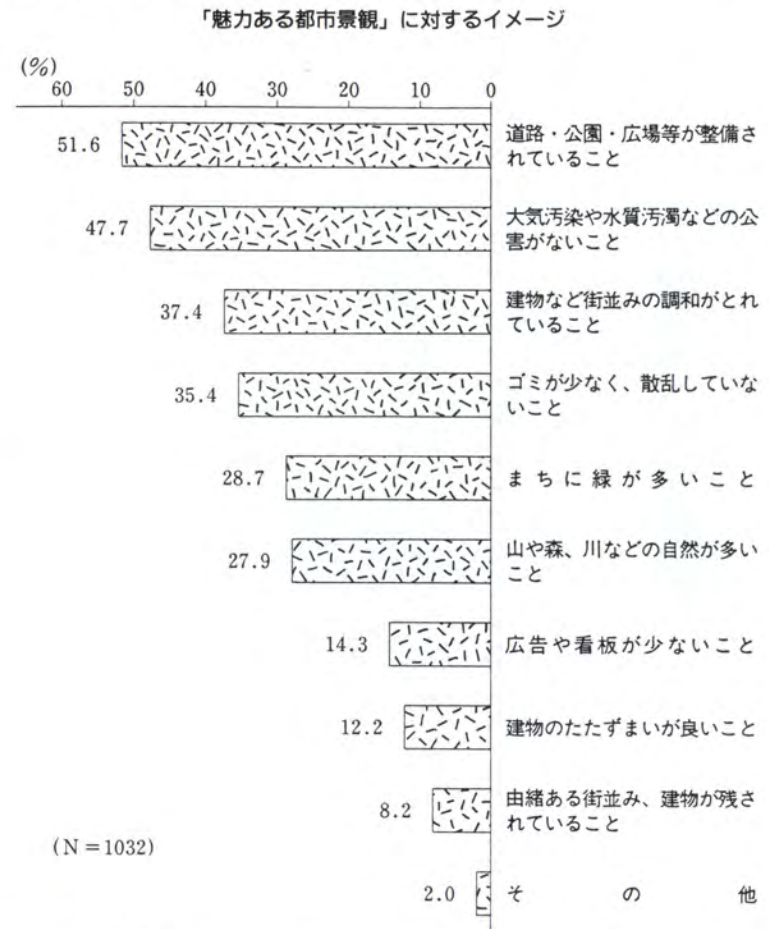
地域の気候や風土にあった快適な居住環境が求められる中で、木のもつやさしさ、あたたかさ、を生かした木造住宅の良さが目直されつつあります。その際、富山で問題となるのが、雪の存在、雪に強い木造住宅の普及が大きな課題になっています。そうした中で注目されるのが最近、上市町で建設された「ガンギ」を取り入れるなど雪国での生活を考慮した和合住宅。この住宅の設計は、「地域に根ざした木造住宅」をテーマにした公開設計競技で選ばれたもので、灯油、電気などを用いた屋根雪の融雪システムも現在研究中で、富山市月岡にモデル住宅を建設し、さらに改良を加えて普及を図ることにしています。

この10年で美しくなった…約6割

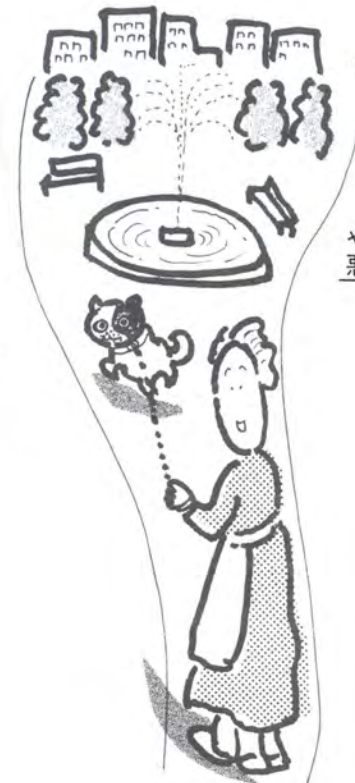
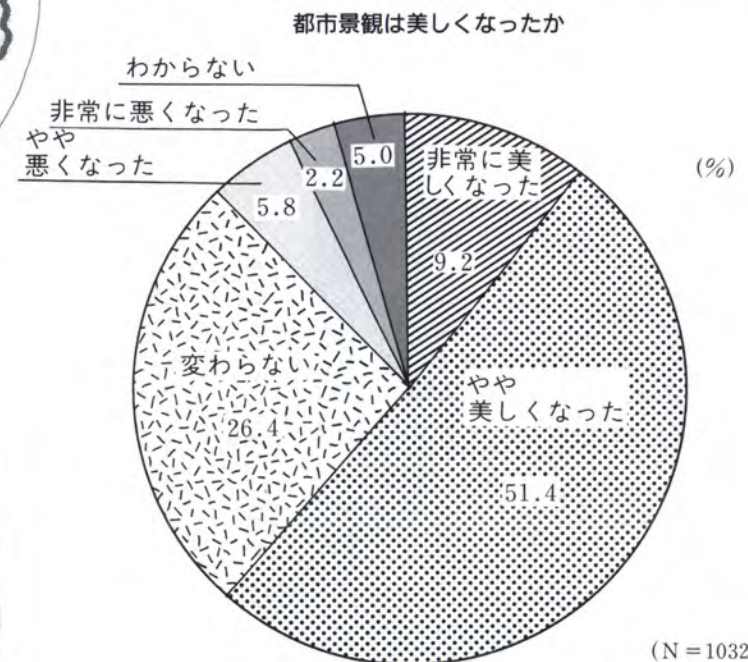
この十年の間に都市景観が「美しくなった」と思う人が約六割を占めています。

また、「魅力ある都市景観」のイメージでは「道路、公園、広場等が整備されていること」が最も多く、次いで「公害がないこと」「建物など街並みの調和がとれていること」があげられています。

あなたは、「魅力ある都市景観」という言葉から、どのようなイメージを描けますか。次の3つ以内で教えてください。(MA)

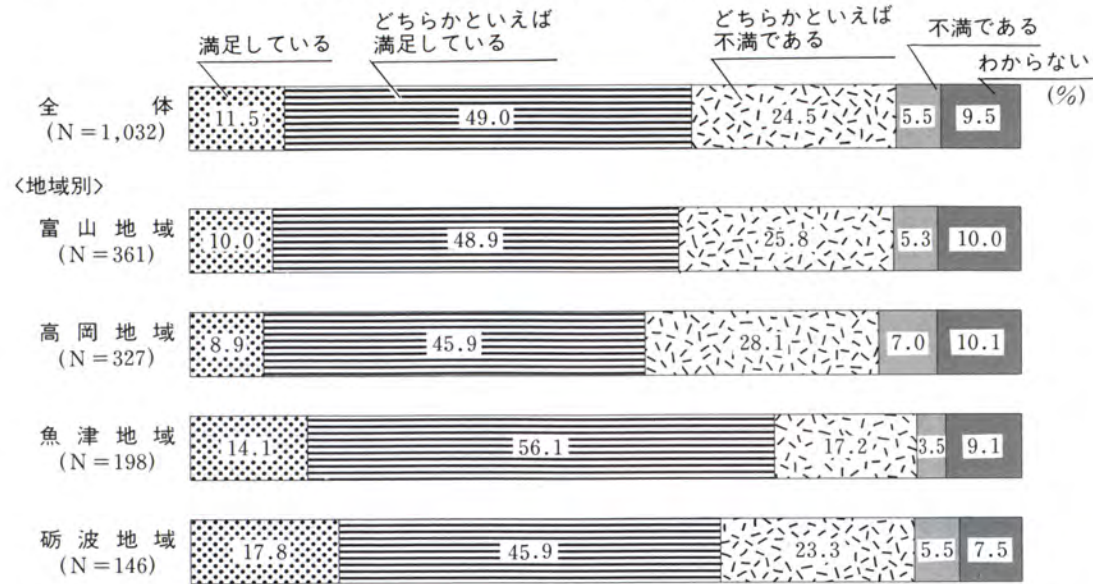


あなたは、現在お住まいの市町村の景観について、ここ10年の間にどのように変化したと思いますか。1つ教えてください。



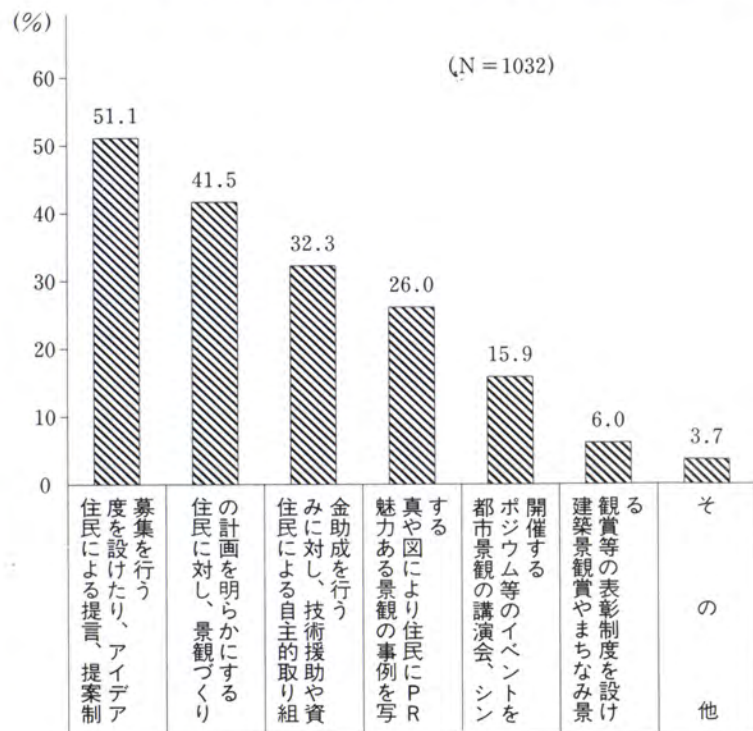
現在の景観についてどのように感じていますか。1つあげてください。

現在の景観に対する満足度 (全体・地域別)



魅力ある都市景観形成は、行政だけでなく、住民の参加や協力により進めなければなりません。このためにはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つ以内で教えてください。(MA)

住民の参加や協力による魅力ある都市景観形成のための方策



都市景観ガイドライン策定

魅力あるまちづくりのためには、建築物、広告物、緑地などの配置やデザインを総合的に考慮し、ゆとりと潤いのある都市景観整備を進めることが大切です。

そのため富山県では、昨年、各市町村が景観整備を進めるうえで指針となる「富山県都市景観形成ガイドライン」を策定しました。

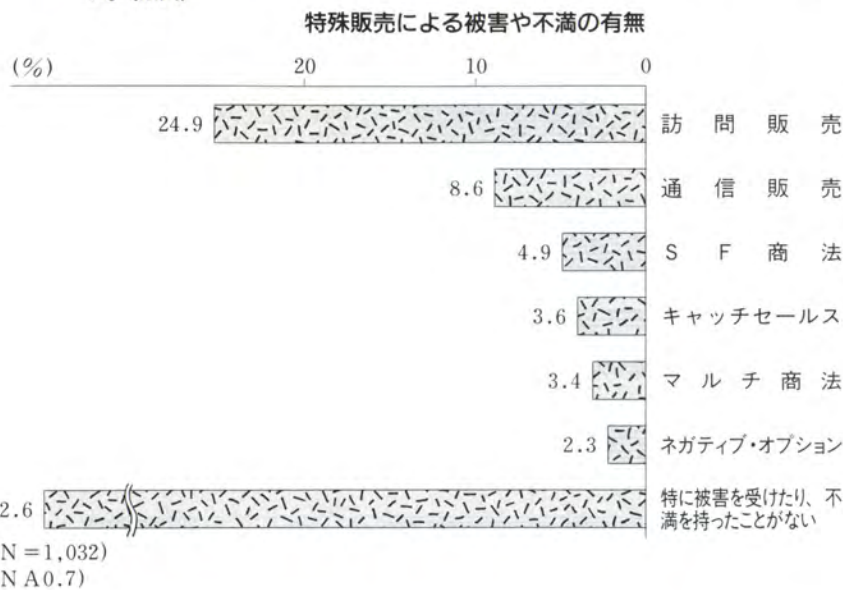
これをもとに、各市町村では、それぞれの景観特性を加味して「ガイドプラン」を策定することにしています。今年度は、朝日町と福岡町が独自の「ガイドプラン」を策定、よりよい都市景観の形成が進みつつあるようです。

また、都市景観は、行政と住民の協力で築き上げていくものです。建物や広告物を作るときや道路や公園を利用するときなど私たち一人ひとりが、望ましい景観を保持しようとする意識をもつこととして積極的にまちづくりの主体者として知恵を出していくことも重要です。

「特殊販売」の被害・不満…3人に1人

特殊販売によって被害を受けたり、不満を持ったことのある人は三人に一人を占めており、特に「教育用教材」や「消火器」「書籍」に対する被害・不満が目立っています。

あなたは、今までに、次にあげた特殊販売によって購入した商品によって、被害をうけたり、不満を持ったことがありますか。ありましたらすべて教えてください。(MA)

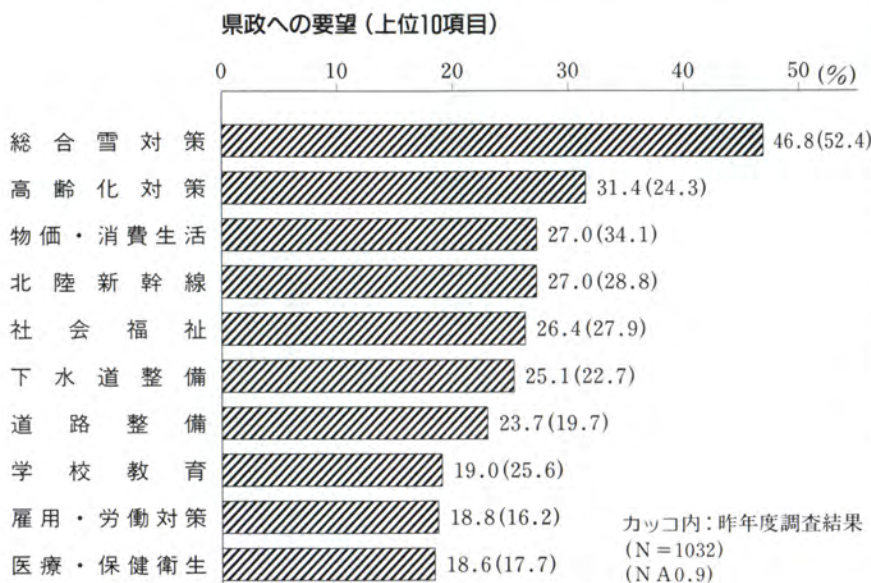


県政への要望

県に最も力を入れてほしいものは、「総合雪対策」がトップ、次いで「高齢化対策」が昨年より七・一ポイント増加し、六位からランクアップしているのが注目されます。

また、年齢別にみると、一般的に「総合雪対策」に対するニーズが高い中で、中高年齢層で「高齢化対策」を要望する人が多くなり特に「六十歳以上」では、トップに挙げられています。

あなたが、いま県の施策で力を入れてほしいと思われるものはどんなことですか。5つ以内で教えてください。(MA)



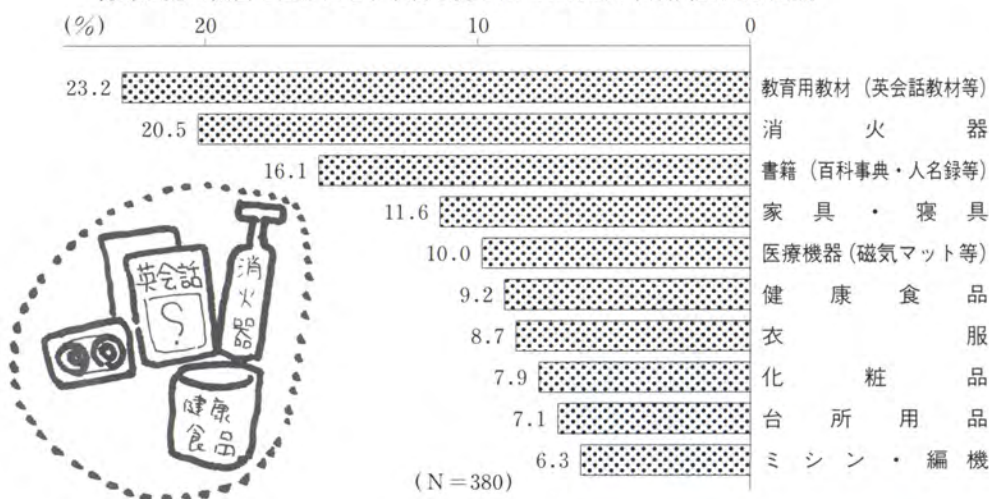
1位「総合雪対策」、2位「高齢化対策」

県政への要望(年齢別上位5位) (%)

	1位	2位	3位	4位	5位
20~29歳	総合雪対策 49.4	スポーツ・レクリエーション 34.4	道路整備 31.8	北陸新幹線 31.2	観光開発 27.3
30~39歳	総合雪対策 49.3	社会福祉 28.7	学校教育 25.4	物価・消費生活 雇用・労働対策 道路整備 24.4	高齢化対策 23.9
40~49歳	総合雪対策 48.3	高齢化対策 34.6	物価・消費生活 32.9	北陸新幹線 下水道整備 28.2	社会福祉 25.6
50~59歳	総合雪対策 48.8	高齢化対策 34.1	北陸新幹線 29.0	物価・消費生活 28.6	下水道整備 28.1
60歳以上	高齢化対策 43.1	総合雪対策 39.0	社会福祉 33.9	物価・消費生活 31.2	北陸新幹線 下水道整備 25.7

前問で1つでも「ある」と答えた方にお聞きします。それはどのような商品でしたか。いくつでも教えてください。(MA)

特殊販売で被害を受けたり、不満を持ったことのある商品(上位10項目) (%)



訪問販売にご安心

被害や不満のある特殊販売として第一位にあげられた訪問販売。県の消費生活センターへも昨年度年間だけで千二百六十一件の相談が持ち込まれています。その相談内容を見ますと、学習教材、寝具、印鑑など、セールスマンに言葉巧みに勧誘され、十分考える時間もないまま契約してしまい、後で解約をめぐるトラブルが発生する場合があります。こんな時、消費者に冷静に考える期間(訪問販売の場合は七日間)を与え期間内であれば契約を解除できる「クーリングオフ制度」が利用できます。(代金を全額支払った場合、化粧品など消耗品は使ってしまった場合などは適用されません。)

しかし、契約するのはあなた自身。安易な気持ちで契約をせず、契約内容をよく確かめる。ほんとうにいるものかどうかよく考える。「いらぬ時はきっぱりと断る。」「など「賢い消費者」になることが肝心です。

「県政に対する要望」の変遷

県政世論調査では、第一回調査(昭和四十五年)以来、県政推進の指針とするため「県政に対する要望」を調査項目に挙げています。

県民の皆さんの「県政に対する要望」の年度別の推移を見ますと、それぞれの社会背景を反映したものとなっています。

例えば、第四回から第十六回まで、常に一位に挙がっていた「物価・消費生活」が、円高メ리트の波及などによる物価の安定で、今回調査では三位。一方、第十七回は六位だったが「高齢化対策」が二位になっているのが特徴的です。

- 主な年度の上位三項目は、次のとおりです。
- 五十年代 ①物価対策 ②社会福祉 ③交通安全
 - 五十五年度 ①物価、消費生活 ②社会福祉
 - 六十年代 ①物価、消費生活 ③医療、保健衛生 ②社会福祉
 - 六十二年度 ①総合雪対策 ②高齢化対策 ③物価、消費生活 ③北陸新幹線

昭和六十二年分の所得税の確定申告の期限は、三月十五日です。期限間近になると税務署の窓口が混み合いい、長時間待たされたり、落ち着いて相談ができなかったりしますので、確定申告は早めに済ませましょう。

確定申告は

3月15日まで

確定申告をしなければならぬ人

- ① 事業をしている人や不動産収入のある人、土地や建物を売った人などで、昭和六十二年中の所得の合計額が、基礎控除、配偶者控除、配偶者特別控除、扶養控除などの所得控除の合計額を超える人
- ② サラリーマンで、昭和六十二年中の給与の収入金額が、千五百万円を超える人や、給与所得や退職所得以外の所得の合計額が二十万円を超える人

確定申告で税金が戻る場合があります

- ① 源泉徴収された利子所得や配当所得、原稿料などの収入がある人で、所得があまり

多くない人

- ② 給与所得者で、雑損控除や医療費控除、寄付金控除、住宅取得(特別)控除などを受ける人

- ③ 給与所得者で、62年の中途で退職し、その後就職しなかったため、年末調整を受けなかった人
など、確定申告をすることによって、源泉徴収や予定納税ですてに支払った税金の還付を受けることができます。

財産をもらったら贈与税の申告を!

個人から財産をもらったときには、もらった方に贈与税がかかります。昭和六十二年中に個人からももらった財産の合計額が六十万円を超えるときは、贈与税の申告と納税をしなければなりません。贈与税の申告の期間は、贈与を受けた年の翌年の二月一日から三月十五日までです。



わからないことは

早めに、気軽に税務署へ
所得や税額の計算の仕方、申告書の書き方、その他申告に必要な書類などについて、わからないことがありましたら、お早めに最寄りの税務署までご相談ください。



交通事故

ひとりで悩まず相談を

交通事故相談のご案内

県では、交通事故でお困りの方のために、県庁二階に交通事故相談所を設けて、弁護士や専門相談員が交通事故から生じるいろいろな問題に応じています。

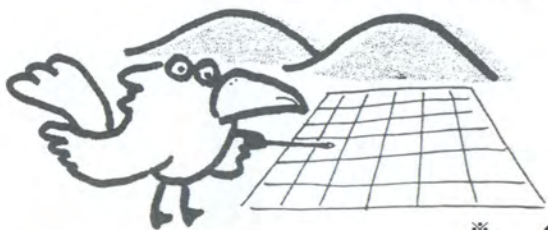
- 次のような場合は、お気軽にご相談下さい。
 - 示談の進め方がわからないとき
 - 保険金の請求方法がわからないとき
 - その他、交通事故のことで困っているとき
- 相談は無料、秘密は固く守ります。手紙・電話による相談もできます。

交通事故が起きたら直ちに次のことを守りましょう。
(道路交通法第七十二条)

- 負傷者の救護をする
- 危険防止の措置を講じる
- 警察へ事故の届出をする

富山県交通事故相談所
富山市新総曲輪一番七号 富山県庁二階
(0764)314111

4月は、地価公示普及月間です 土地に関する無料相談会



「いま持っている土地はどれくらいの価値があるのだろうか。」「購入した宅地の価格は適正だったのだろうか。」というような疑問を持たれたことはないでしょうか。
土地の価格は、国の地価公示や県の地価調査結果によって知ることができます。土地の売買の際には近くの地価公示や地価調査の価格を参考にしてください。(各市町村窓口で閲覧できます。)

地価公示普及月間の行事として、土地の評価などに関する無料相談会を開催します。

専門知識と豊富な経験を有する不動産鑑定士が、責任をもって回答しますので、お気軽にご相談ください。

◆日時/四月四日(月) 午前十時

◆場所/富山県民会館 六〇一号室

高岡市役所 八階会議室
※詳しくは、県庁県民生活課へ

春火災予防運動

消えたかな! 気になるあの火 もう一度



三月二十日(日)から三月二十六日(土)までは、春季火災予防運動の実施期間です。空気が乾燥し、火災が発生しやすいこの時期、火の取り扱いには十分注意しましょう。

【火の用心のポイント】

- ① 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
- ② 子供は、マッチやライターで遊ばせない
- ③ 風の強いときは、たき火をしない
- ④ 天ぷらを揚げるときは、その場をはなれない
- ⑤ 家のまわりに燃えやすいものを置かない
- ⑥ ふろの空だきをしない
- ⑦ ストープには、燃えやすいものを近づけない



PIN-UP TOYAMA

早春の弥陀ヶ原
〈撮影/石崎 義高(滑川市)〉

薄陽射す雪原に 幼木も顔を出し ゆっくりと春は立つ

あしたは

僕らが創る

新しい時代を築き上げるのは、青年たちの若い力です。二十一世紀まであと十三年。県内各地で、青年たちの新しい力が芽吹きはじめています。ここでは、まちおこし、農業、ボランティアなど、それぞれの分野で、地域社会と取り組む青年のグループを紹介いたします。

ひろがれサンバ!

富山サンバ同好会



みどりの風が吹いたら

真夏へ駆けて行け

富山市のイベントテーマソング「光の街のサンバ」にのって、思い思いの衣装で思い思いに踊る人、人、人。「桜まつり」に「おらっちや祭り」と富山の祭りに欠かせないサンバパレード。

桜まつりをまぢかに控え、富山市内のスポーツセンターで、練習が行われています。中心になっているのは、「富山サンバ同好会」。

「そもその始まりは五年前。新世紀博にやってきた本場ブラジルのサンバチームに触発され、富山でもサンバを踊ろうということになったのです。」(事務局長の山下隆司さん35歳)翌年から好きな人たちがパレードに参加、二年前には同好会を結成し、サンバの楽しさを広めています。

同好会のメンバーは、「ミスおらっちや」や「おらっちやメイト」等約三十名。昨年は、他の市町村の祭りに呼ばれたり、神戸まつりに参加したりと大活躍でした。「サンバなんて知らなかったけど、やみつきになりました。基本のステップさえマスターすれば、リズムに乗って自由にやればいんです。」神戸は町



ナシ作りにも自信アリ 呉羽ナシクラブ

富山市の呉羽丘陵一帯は、県内外に知られる一大ナシ生産地。ここで専業のナシ生産を営む若い農業者のグループが、「呉羽ナシクラブ」です。

クラブの結成は十一年前。現在は、四人の若者が肥大調査や病害虫調査など、ナシの成育に関する共同研究を進めています。

「ただたくさん作れば良い、というのは昔のやり方。産地間の競争に勝つには、より質の良いものを作る研究を進め、それを呉羽地区全体に普及させていかなければなりません。」(代表の矢後勉さん25歳)

成育状況や収穫期の子実などについて、クラブ員同志、深夜まで議論を交わすこともしばしばで、以前は、単なる親睦団体としか見えてくれなかったベテランの生産者たちも、クラブの研究成果があらわれるにつれ、次第に注目しはじめています。

ナシクラブの若い力が呉羽ナシのあり方をかえはじめています。

このクラブの目下の悩みは、団員の数が少ないこと。以前は、十人以上の若者がいたこともあったそうですが、新しいクラブ員がなかなか集まらず、しばらくは、この四人でやっています。

「今はナシから離れている同年代の人たちも、いずれは、戻ってきてくれると信じています。その時には、ぜひほくたちの経験を教



全体がサンバ一色。赤ちゃんからおじいさんまでが踊りました。富山もそんな町になれどなあれ。」とメンバー。

同好会では仲間を募集中。企業やサークルに呼びかけたり、出張講習会も開きます。「楽

器をやりたい人も大歓迎です。老若男女の別なく、誰でも気軽に参加できる祭りがあってもいいじゃないですか。とにかく楽しければいいんです。」と山下さん。どんどん広がるサンバの輪が、富山を変えるかもしれません。

えてあげたい。そのためにも、もつと栽培技術を向上させ、ナシ生産を魅力あるものにするのが、今のほくたちの役目です。」

よりよいナシ作りを追求する「呉羽ナシクラブ」の意気はさかんです。

多目的研修梨会館



僕らが創る



芝居で村をいきいきと

小矢部市末友劇団

「親分テヘンダ、テヘンダ」——観客から「ヨッ待ってました」の掛け声。「なんデエ八、騒々しい。」「いいゾー」——

稲作農家が大部分を占める小矢部市末友地区。戸数百三のこの小さな村は九月十五日の秋祭りの夜、村芝居の熱気に包まれます。

演ずるのは、地元末友青年団が中心となった末友劇団、総勢三十五人です。

この劇団の村芝居、八年前の旗上げ以来、除々に人気を増し、今では秋祭りになくはならないイベントになっています。

「決められたノルマをこなしていくだけの青年団活動ではだれも魅力を感じてくれません。もつと自分たちの気持ちの燃えたつものを、そして、地域の人たちにも親しんでもらえるものを、とはじめたのがこの劇団です。」(劇団旗上げ当初から携わる山本克博さん29歳)。

人を愛して

土地を愛して

桜井高校・家庭クラブ



「おじいさんの笑顔を見ると、やってよかったなああって思いますね」と、明るく話してくれる桜井高校家庭クラブの皆さん。いずれも若さいっぱい、元気印の乙女たちです。

この家庭クラブは、家政科で学んだ知識を実践するなかで施設のお年寄りや知恵遅れの子供たちを慰問するなどの活動を行っています。

当初は、クラブ員の大半が核家族育ちということもあって、お年寄りに戸惑い、また、話題がなくてどこかなかつたりもしましたが、今では、思い出話や学校のできごと、友達の話など話題がつきないとのこと。こうした訪問活動がきっかけとなって昭和五十三年、

「なげなななかでつかいことやろまいか」平村青年団は、昨年夏、東京に殴り込みをかけました。名付けて「あんにやらまめなかいキャンペーン」。団員二十七名が東京のテレビや野外音楽堂で民謡を披露し、村を売り込みました。

「存分に感動してもらえました。練習も大変だったし、スケジュールもきつかったけど、大きな自信になりました。」(団長の城道徹司さん25歳)。「今は、山村ブームだからマスコミが注目してくれるけど、他の地域に負けないイベントを作って村おこしをしていかないと忘れ去られていくからね。平村青年団は、自らイベントをしかけて若者を集めています。昨年八月には、五箇山体験合宿「サマードリームコネクション」を開催。県内外から参加した五十名の若者がそば作りや和紙すきを体験しました。二月には、スキーをメインにした「スノードリームコネクション」をやりました。

「平村は、民宿、遺跡、民謡、スキー場と基礎が整っているから、何でもできるし、何をやってもいい。小さな

村おこしの仕掛人

平村青年団



出しものは、遠山の金さん、清水の次郎長、そして昨年の銭形平次など。原作にはない喜劇性も取り入れ、子どもからお年寄りまで地域の人たちみんなが楽しめるように工夫されています。

末友劇団の芝居は、二時間にも及ぶ長いものですが、台本はもちろん、舞台装置、大道具、衣裳などすべて自前。一ヶ月前から本格的な準備をはじめ、二週間前になると連日、深夜まで作業が続きます。

こんなつらい思いをしても芝居をやめられないのは、「演じている仲間、そしてみてくれる人たちの一体感を味わいたいから。地域をいきいきさせたいという気持ち」がほくたちのパワーの源です。(団長の萩沢則義さん27歳)。

地域の「集いと笑いのキュービッド」末友劇団一座の頭の中は、もう今年の上演の構想でいっぱいです。



「から老人ホーム、新川ヴィラ」のお年寄りと生徒との間で里孫の縁結びが行われています。現在、里孫になっている生徒は二十三名。月一回、お年寄りを訪問し、

「たくさんありますね」と。

将来、機会があればまたやってみたいという人もおり、家庭クラブの奉仕活動、これからも期待できそうです。

村だけどころな可能性があるのです。」

もちろん、機関誌作りや清掃などの定例行事も活発だし、秋には「ジャンと来いまつり」で村の人に民謡や演劇を楽しんでもらっています。

「ほくらは水先案内人。実験的にいろいろやってみて村に還元していきます。」

団員が一丸となつて村の活性化に取り組んでいる平村青年団、今度はどんなにかいイベントを仕掛けてくれるでしょうか。



中五箇山平村青年団キャラバン隊
にやらちまめなかいキャンペーン

レポーターは
高橋朋子さん(富山市)です。



ここは歴史の玉手箱

富山県公文書館

公文書館——みなさんはこの名前を聞いて、まずどんなイメージを抱きますか？正直言って私はここを訪問するまでは、分厚い書類が図書館のように並んでいる、それだけを想像していました。

毛筆で慎重に書かれた 一つ一つの文字に歴史の重み

もちろん県の大事な文書や資料等が、いくつもの書庫に大切に保管されています。そしてそこは文書が傷まないように、いつも温度や湿度が完全にコントロールされています。

またその他にも歴史的な公文書や資料、戦前の記録など、歴史ファンには見逃がせない貴重なものもたくさん保存されています。

私は江戸時代の年貢取り立てについての証文や明治時代の県民の郡設置に関する要望書、大正時代の電報などを見せていただきました。色あせた和紙の文書を見ると、ワープロやパソコンなどの便利さを感じる一方、毛筆で慎重に書かれた文字から歴史の重みを感じました。本当にいくつもの戦災や火災をくりぬけて、今の時代まで残った文書だと思えば、大事に保存することが私たちの義務だと思えます。

「情報公開制度」の窓口

公文書館のあと一つの大きな役割は、「開かれた県政」をキヤッチフレーズとした情報公開・情報提供です。この情報



公開制度は今徐々に注目を浴びつつありますが、県庁東別館二階とここ公文書館がその受付窓口となっています。この制度は、県民の請求に基づいて県の持ついろいろな情報を公開するもので私達県民にとって、これからもっと身近なものになることでしょう。

歴史講座や子ども郷土史教室 に人気

この公文書館は去年の四月一日に開館したばかりですごくきれいで、特に展示室が映像と音で楽しめるようになっていました。「博物館プラス美術館」という雰囲気です。また開館して一年しかたっていないのですが、すでに歴史講座や子ども郷土史教室が開催され、参加者が定員をはるかに超えるほどの人気だったそうです。これは富山県の歴史に対する県民の関心が、今どれほど高まってきているかを示しています。今後、このような講座や教室が増えれば、県の歴史に親しむチャンスとして、どんどん利用されていくことでしょう。

環境も、県立図書館や埋蔵文化財センターに囲まれた、最高にアカデミックなところです。ちなみにこの「県広報とやま」も大切に保管されているそうです。もちろんこの号もずっと残されるそうで、私の写真うつりが少し気になります。



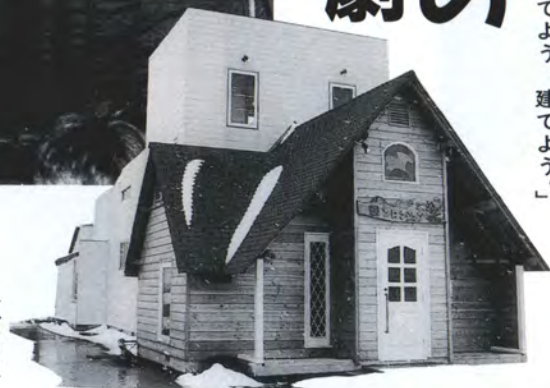
※加納みゆきさんの作品も
展示されています。

とある酒宴
—とある酒宴—

黒部市

手作り劇場の 手作り演劇

とある酒宴
—とある酒宴—
団員A 「劇場あったらいいの。自由に公演できたらいいの。」
団員B 「おうちの田んぼあるから建てるかの。」
その他大勢 「おお、建てよう、建てよう。」



酒の勢いは怖い。アマチュア劇団フロンティアは、黒部川のそばの田んぼの中に、自分たちの手で劇場を作ってしまった。
「長かったですよ。皆素人だから全然進まなかったが、皆の力で不可能を可能にするんだ、とがんばりました。」と建設委員長の富田さん。「血も何度も見ました。休日は、一日中ここ。家族を置き去りにしてね。」と森さん。一年半の苦勞のかがあって、昨年十月、百五十名収容の劇場が完成した。名付けて「シアターフロンティア」。

フロンティアの前身は、青年劇団。全国大会に出場した三日市青年会のメンバーが中心になって四十三年に結成した。以来、イブセシから井上ひさしまでいろいろな作品を演じてきた。現在団員は約二十名。二十二歳から四十六歳まで。教員もいれば主婦もいる。黒部市では唯一のアマチュア劇団だ。これまでは、公民館などを借りて練習してきたが、自由に使えないし、公演も二・三日しかできない。「自分たちの劇場は長年の夢だった。」

「劇場ができて、本番さながらに密度の濃い練習ができるようになりました。」と鮫島さん。「小さな空間の中で、客と同じ空気を吸っている。ここじゃないと言いたい事は伝わりません。」



それも手作りならでは。

これからは、年間最低二作品はロングランでやるとか。「団員がもつとれば、劇場をフルに使えるんだけど。」メンバー募集 중이다。

劇場作りで団結力が一団と高まったフロンティア。六月からの公演に向け、自分たちの劇場で、自分たちの演劇作り燃えている。

装置も運ばなくていいし、アパート



とマイホームの差ですね。とつもないメリットがあります。」と富田さん。森さんも「借金が残ったけど、こんな体験は一生に一度。ラッキーでした。」

時折すき間風が入るが、

朝 魚のまちの



一日二回行われていて。

網は、朝四時に沖合四百メートルに仕掛けておいたもの。引き手は乗組員と近所のアルバイトの人達、三十名ほどだ。

「日によって入ることもあるし、ダメな時もある。昔は夏もやつとつたんですが、魚が減ったもんだから今は十二月から三月だけです。」と親方の黒部栄次郎さん(65才)。

ロープを引くこと四十分。ようやく網が見えてきた。七、八人がバシャバシャと海へ入って網をたぐる。その網をひく人、並べる人、繕う人、舟に積む人。ロープをひく人、機械にまく人、それぞれ役割がある。

さらに三十分。魚のうろこが見えてきた。「ヨイシヨ、ヨイシヨ」掛け声にも力が入る。きたきた。今日は、アジにヤリイカ、カワハギだ。クルマダイ、キンメダイも数匹。ガンコも大口をあけている。

大物は、朝市に出される。残りはアルバイトに現物支給。円陣に並べられた魚の回りをアルバイトの人達が回る。
名前を呼ばれた人が目印へ来たたらストップ。「金をもらわんから、ぜん取らず。公平やろ。」各々目の前の魚を袋やバケツに入れると、一輪車を押して帰っていく。
二時までひと休みだ。

黒部市の概要

面積 87.91平方キロメートル

人口 36,239人 (63年2月1日現在)

黒部川の扇状地に発達した町。湧水が多く、生地には自噴水を利用した共同洗い場がある。宮野運動公園は桜の名所としても親しまれ、嘉例沢森林公園は、キャンプに最適。吉田科学館には日本海側最大のプラネタリウムがあり、生地の巡回橋は国内唯一である。



商人たちが魚をぐるりと囲み、駆け引きが始まった。ヤリイカ、小ダイ、アジ、カワハギ、

AM5:30
まだ明けやらぬ黒部漁港。船で、トラックで、次々に魚が運ばれてきて、市場のコンクリートの上に並べられる。
フクラギー
センゴヒヤクエンどやー
セオナツバ(千三百五十円)どやー
ギン(百円)かー



AM7:30
魚は一匹残らず消え、市場は静まり返る。やつと夜が明けてきた。
AM8:00
ドッパーン
ドッパーン
波が打ち寄せ、雪が吹きつける。黒部漁港のすぐそばの浜では、黒いカッパを着た人達がロープを引いている。生地名物地曳き網は、八時からと午後二時から、

1月16日～2月15日

1月22日

国際観光モデル地域協議会設立総会

1月27日

第3回「とやま森林浴の森」検討委員会

1月29日

北陸雪氷技術シンポジウム



21世紀農業基盤検討委員会

2月5日

生活文化フォーラム
警察航空隊開所式



2月6日

北方領土の日街頭キャンペーン



近代美術館企画展「美との対話'88」
(3月6日)

2月7日

雪のファンタジーコンサート

2月10日

対岸貿易講演会

2月14日

冬季県民レクリエーション大会「雪のシンフォニー」

2月15日

医療功労賞功労表彰式
都市景観連続フォーラム

インフォメーション・プラザ

'88富山の美術 開催

富山県在住または富山県とかわり深い三十一年の作家の作品約九十点を集めた展覧会です。

◆開催期間／三月十二日(土)～四月十日(日)

◆場所／県立近代美術館

◆観覧料／一般 二百六十円

高校・大学生 四百円

小・中学生 二百五十円

富山県の考古資料展 開催

黒部川扇状地の各遺跡から発掘された考古資料を中心に、県内各地で発掘された各時代を代表する資料を展示します。

◆開催期間／三月十一日(金)～二十一日(月)

(三月十五日(火)は休館)

◆場所／入善町民会館

◆入場料／無料

高岡文化ホール 音楽友の会 員募集

コンサート・音楽映画(それぞれ年六回)の鑑賞ができます。

◆入会金／千円

◆年会費／一万二千元

※詳しくは、

富山県高岡文化ホール

(☎0766・25・4141)へ

文化・スポーツ産業施設 整備資金

音楽ホール、カルチャーセンター、テニスコート、スイミングプール等文化スポーツ施設の整備を行う事業者の方を対象とした資金融資です。

◆貸付限度／二千五百万円

◆貸付利率／年四・二パーセント以内

◆貸付期間／建物・構築物 七年以内

設備 五年以内

(据置期間一年以内)

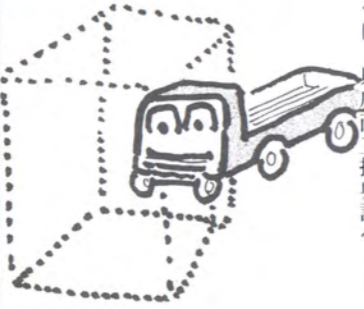
※詳しくは、県庁商工振興課へ

分譲地 小杉流通センター

卸売施設、運輸関連施設、倉庫施設などの用地としてお勧めします。

◆分譲価格／三万八千円/平方メートル

※詳しくは、県庁商工振興課へ



小矢部川流域下水道が 供用を開始します

小矢部川流域下水道が三月二十九日(火)から一部供用を開始します。

この下水道は、高岡市など小矢部川流域の四市七町一村の下水を処理する下水道計画で昭和五十六年から幹線管渠の敷設と終末処理場(二上浄化センター)の建設を進めていたものです。

昭和六十三年度は、高岡市の一部から日量一万二千トンの下水流入が見込まれています。

住宅情報

(宅地分譲案内)

南太閤山一戸建用地(十二区画)

◆分譲価格

四万六千九百円/㎡

太閤山企業用職員宿舍用地 (五棟分・二か所)

◆分譲価格

四万五千四百円/㎡

◆問い合わせ先

太閤山住宅団地建設事務所

(☎0766・56・0221)

(優良宅地取得資金)

県、または住宅供給公社が造成した住宅団地の宅地を購入される方への資金融資です。

◆融資限度額

二百五十万円

◆償還期間

二十年以内

◆融資利率

年五・二パーセント

(富山県特別住宅分譲制度)

富山県住宅供給公社で、雪に強い住宅仕様のものを購入する場合などに適用される制度で、住宅金融公庫の融資額が割増されるなどの特典があります。

(地域優良木造住宅の) 割増融資

住宅金融公庫及び県の「住みよい家づくり資金」の融資を受け、耐雪型・断熱構造の木造住宅を建設する場合、住宅金融公庫から最高二百万円の割増融資が受けられます。

(住みよい家づくり資金)

雪に強い家づくり、住みよい家づくりのお手伝いをする富山県住みよい家づくり資金の融資条件が改善され有利になりました。

◆融資限度額

新築 三百二十万円

改良・中古改良 二百万円

◆償還期間

新築 二十年以内

改良・中古購入 十年以内

◆融資利率

年五・二パーセント

※住宅資金融資について詳しくは、富山県住宅供給公社(☎0764・32・5131)へお問い合わせください。

昭和63年3月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
5	土	富山駅前 高岡駅前	10:00～16:00 10:00～15:30
6	日	小杉町バスコ前	10:00～15:30
7	月	福光町福祉会館前	10:00～15:30
12	土	富山駅前 高岡駅前	10:00～16:00 10:00～15:30
13	日	富山西武前	10:00～16:00
17	木	小矢部市役所前	10:00～15:30
19	土	魚津市サンプラザ前 高岡駅前	10:00～15:30 10:00～15:30
20	日	富山市中央通り	10:00～16:00
26	土	富山駅前 高岡駅前	10:00～16:00 10:00～15:30
27	日	高岡駅前	10:00～15:30

TOYAMA GUINNESS SPOT 11

チューリップ



春の富山平野を鮮かに彩るチューリップ。その歴史は古く、大正七年、故水野豊造氏（砺波市）の手によって、最初の栽培がなされました。そして今では、チューリップ球根の売上額（十億千六百万円）全国一位、栽培面積（二百一ヘクタール）出荷球数（五千百万球）がともに二位と、富山県は全国的なチューリップ球根の生産地となっています。

また最近では、チューリップの香水、石けん、染め物なども開発され話題になっています。

富山県の刊行物

ごあんない

「富山県の歩み」

（昭和62年度版）



「富山県の歩み」は昭和三十六年以来毎年発行（昭和四十七年までは「経済の歩み」）しているものです。今年度版は、六十一年度の県民生活とその背景となる県内経済と行政施策の動向を掲載しています。

「県民生活編」では、人口、環境、消費生活、教育、福祉・保健衛生、国際化時代への対応、「産業経済編」では、産業の基盤、産業の動向、労働、行財政の全十章の構成となっており、統計資料を随所に交え記述してあります。

- 発行予定 3月中旬
- A5判／三百二十一頁 定価二千三百円
- 申込先 富山県統計協会（県庁統計課内）

相談窓口のごあんない

県政については

- 県民相談室 富山市新総輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111代
31-3131(県民電話)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151

消費生活については

- 消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
〈一般相談は〉
☎(0764)32-9233
〈金融相談は〉
☎(0764)33-3252
- 消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

暴力・サラ金などについては

- 困りごと相談所
警察本部防犯少年課
☎(0764)33-8080
 - 覚せい剤・サラ金相談
警察本部生活保安課
☎(0764)41-8904
 - 暴力団ゼロ110番
警察本部捜査第二課
☎(0764)42-0110
- このほか各警察署でも受け付けています。

見てください・聞いてください

NEWS-PAPER

新聞広報

TV

テレビ広報

RADIO

ラジオ広報

新聞広報

- 北日本、富山、読売、北陸中日
毎週第2土曜日
「県からのお知らせ」
毎月最終土曜日
「みんなの県政」
- 朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

テレビ広報

- 北日本放送
毎週日曜日 AM8:00~8:30
「こんにちは富山県です」
- 富山テレビ放送
毎週日曜日 AM9:00~9:30
「110万人のひろば
—クイズ/フォーカス・イン—」

ラジオ広報

- FMとやま
“ふれあいホットライン”
県内各地からホットな話題を
クリアなサウンドでおとどけ
します
毎週月~金曜日 AM9:30~9:35

編集後記

★生地浜の寒かったこと。吹雪がコートのすき間から入り込みます。それでも、魚を見ると、寒さも忘れ、プシュプシュと墨を吐くイカに年がいてもなくはしゃいでしまいました。魚が終わる頃には体はヒエヒエ。こりやあ、風邪をひくなと思っただけ、未だ元気。風邪ひきの皆に白い目で目られています。

★二月十三日、そば祭り。利賀村は雪のお出迎えをしてくれました。特産のそばに御幣もち、そしてどぶろくて一生懸命に暖をとったのですが、山の寒さには勝てず、ついには風邪をひいてしまいました。

いつも元気に飛び回る「頑健」なもう一人の女性スタッフをうらやましく思いつつ鼻をグズグズさせている毎日です。



粉神は、春の キラワレモノ



雪がとけたら、いいノリで走りたい
スパイクタイヤは早めに交換を

富山県